

学校探検 13

正しく 強く 優しく

小野小学校 (出石)

案内者 井垣 拓也くん



小野小学校では、現在84人の児童が4つの地区から通っています。

小野地区は、但馬地域を開拓したといわれる天日槍伝説の地域で、但馬一宮「出石神社」があります。

小野小学校に通う井垣拓也くん(6年生)の特技は、4年生から続けている野球です。将来はプロ野球選手になりたいという夢を持つ児童会長の井垣くんに、小野小学校を紹介してもらいました。



▲児童に人気のジャンボすべり台

僕が通う小野小学校には、「ジャンボすべり台」があります。長さ約30メートル、落差約15メートルもある大きなすべり台です。校舎を見渡すことができる高台に設置してあるので、一気に滑り降りるととても気持ちいいです。

また、僕たちは全校生で空き缶のプルタブ集めをしています。集めたプルタブを町内の福祉施設に寄付して、福祉用具の購入に役立ててもらっています。

僕が一番思い出に残っている学校行事は、5月に行う球技大会です。この大会は児童会が計画して行うもので、1・2年生が「転がしドッジボール」、3・4年生が「ドッジボール」、5・6年生が「ミニサッカー」と「ソフトバレー」をそれぞれします。

僕は、児童会を代表して審判をしました。選手として参加できなくて残念でしたが、みんなに楽しんでもらおうと、頑張って大会運営に協力しました。

また、2月に行う「にここ交流会」は、僕たちと地域の方をつなぐ、交流の場になっています。

この交流会は、地区ごとの公民館で行い、縄ないや紙相撲、囲碁ボールなどを地域の方々に教わりながら一緒に遊びます。地区の方々に教わるので、とても親しみやすく、



▲「にここ交流会」は児童たちの楽しい行事の一つ

楽しい時間があつという間に過ぎてしまいます。最後は、みんなで餅つきをして、雑煮を食べたことも思い出に残っています。

小野小学校では、このような行事を通して地域の方との交流を深め、人にやさしくできる心を育んでいます。

笑顔の輪

四季の風を体で感じる ツーリングクラブ

『GRANTURISMO』(日高)

GRANTURISMOは、趣味のバイクを仲間と一緒に楽しもうと、市内在住のバイク好きが集まるグループです。平成11年に発足し、現在のメンバーは17人です。

クラブの主な活動は、毎月第3日曜日の定期ツーリングです。事前に打ち合わせた目的地まで、自慢のバイクに乗って一緒に走ります。

「ツーリングの魅力は、気の合う仲間と一緒に旅ができることです」とメンバーの皆さんは口を揃えます。夏は海岸線を、また秋には紅葉を横目に山あいの道を走ります。目的地では、地域の文化にふれたり、旬の味覚を楽しむなど、観光を楽しみます。

メンバーの森田信一さん(日高町東構)は、「目的地は決まっていますが、目的地までの計画は立てません。時には予定外の『道草』をとってバイク談義に華を咲かせ、気

ままに走るのがGRANTURISMO流です」と話します。

クラブの自慢は、職業や年齢の枠を超えた仲のよさです。年末などの休日を利用して忘年会や慰労会を催し、メンバー間で情報交換をしながら親睦を深めるなど、憩いの場になっています。

同クラブ代表の塩見義則さん(日高町東構)は、「バイクという共通の趣味が、今の気の合う仲間たちと巡り会わせてくれました。いつまでもバイクに乗り続けたいです」と少年のような眼差しでバイクを見つめていました。



▲自慢のバイクで定期ツーリングを楽しむメンバー